

InfoPrint 5577 ネットワーク機能 補足説明

このたびは InfoPrint 5577 シリアル・プリンターをご購入いただき、ありがとうございました。

ここには InfoPrint 5577 シリアル・プリンター付属のサポートCDに記されていない追加説明が記述されています。設置前に必ずご一読の上、サポートCDとともに保管していただきますようお願いいたします。

この補足説明書では、Windows 2000/XP/Vista/7使用時におけるプリンター・ポートの設定について記述しています。Windows 2000/XP/Vista/7でのご使用時には、Windows 2000/XP/Vista/7標準の3種類のプリンター・ポートが使用できますが、本製品では LPR Remote PrintのLPRポートまたはLPR PORT(UNIX印刷サービス)でのご使用をお勧めします。

1. LPR PORT (UNIX用印刷サービス)およびLPR Remote Print(LPRポート)の使用時におけるご注意

LPR PORT (UNIX用印刷サービス)をご使用の場合、11個を超える複数ジョブ(12個めのジョブ)の印刷が遅れるという現象が発生する場合があります。この問題は、Windows NT/2000/XP/Vista/7において、LPRで利用できるポート数に制限があるためです。その場合には、Windows上のレジストリを変更することにより、修正することができます。このレジストリの変更方法につきましては、マイクロソフト社の下記ホームページをご参照ください。

<http://support.microsoft.com/default.aspx?scid=kb;ja;179156>

⇒ LPR PORTにおけるプリンターの作成については、サポートCDに収録されている ネットワーク設定ガイド「LPRポートで印刷する」をご参照ください。

なお、LPR Remote Print(LPRポート)については、ネットワーク設定ガイド「Q&A」をご参照ください。

2. Standard TCP/IP ポートでLPRを使用時におけるご注意

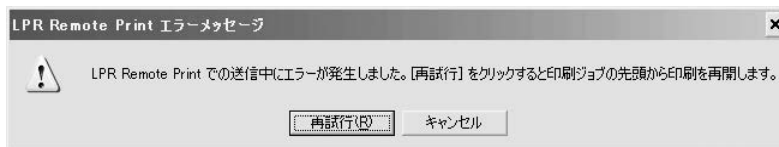
Windows 2000/XP/Vista/7のStandard TCP/IPポートで、LPRの機能を使用した場合に、ネットワーク環境の品質による送受信の遅れに起因するWindows側のタイムアウトが生じることがあり、その結果ジョブの再印刷が起きる場合があります。そのような場合には、LPR Remote PrintのLPRポートまたはLPR PORT (UNIX用印刷サービス)をご使用ください。

3. Standard TCP/IP ポートでのSNMP使用時におけるご注意

Windows2000/XP/Vista/7のStandard TCP/IP ポートで、SNMP機能を使用した場合に、印刷起動に時間がかかる場合があります。これを回避するには、「SNMPステータスを有効にする」のチェックを外し、SNMP機能を無効にしてください。プリンター・ステータスの監視を行う場合は、SNMPではなく同梱のユーティリティソフトウェア InfoPrint Network Monitorをご使用ください。

4. Standard TCP/IPポートおよびLPR Remote PrintでのRAWプロトコル使用時におけるご注意

本製品のRAWポート接続の最大セッション数は8です。9個のジョブが連続するような場合、または9ユーザー以上が同時に印刷を起動する場合、プリンターは8セッションを超えて接続を要求したデータ/ユーザーに対しエラーを返します。この場合、同梱のユーティリティソフトウェア LPR Remote PrintのRAWポートをご使用の場合は、以下のメッセージが表示されます。



この表示が出た場合、セッション数が7個以下になった段階で「再試行」をクリックすることにより、印刷を再起動することができます。

また、Standard TCP/IPをご使用の場合で同条件が発生した場合は、タスクトレイにあるプリンターアイコンにエラーが表示されます(OSの種類によっては、エラーメッセージを表示する場合があります)。

以上

BM13124